

令和5年5月1日発行

旧村川別荘市民ガイド事務局

我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課

歴史文化財係：今野、手嶋、稲村、柏瀬

〒270-1166

我孫子市我孫子 1684 番地

TEL:04-7185-1583 (直通)

E-mail:abk_bunka@city.abiko.chiba.jp

旧村川別荘だより

187号



今年度もよろしくお願ひします！

4月になり、令和5年度がスタートしました。新型コロナもゴールデンウィーク明けには5類引下げとなり、少しずつ以前の日常が戻りつつあるように思います。

これからも引き続き旧村川別荘の活用を推進していきますので、皆様のお力添えのほど、よろしくお願ひいたします。

4月の月例会を開催しました

4月12日(水)に、4月の月例会を実施しました。3月に引続いて旧村川別荘新館での開催となり、新館での会の後は白樺文学館へと移動し、稲村学芸員より、2月より開催している常設テーマ展「白樺派と我孫子2023」の見学並びに説明をしました。

白樺文学館 テーマ展示

「白樺派と我孫子2023」

今回のテーマは「白樺派と我孫子」。山田家コレクションを中心に展示しています。稲村学芸員曰く、「よくここまでのものが集められた」とのこと。絵画や書だけでなく、写真や書籍などにも貴重なものが多く、充実した展示となっています。

ここでは稲村学芸員の解説でピックアップされた資料についてご紹介します。

1. 志賀直哉の告別式の写真

1971年に没した志賀直哉は、同年に告別式が青山葬儀場にて行われ、当時の写真が今回展示されています。

写真からは、非常に簡素な告別式の様子があがえ、武者小路実篤や里見淳など白樺派として志賀と深い親交を持った人々や、川端康成など文壇の大御所の面々もありました。

2. 志賀直哉の買った人形

『和解』にも記述がありますが、志賀直哉は我孫子在住時に、生まれたばかりの長女を亡くしています。とても悲しんだ妻のため、志賀が買い与えたと伝わる人形が、今回展示されています。

しかし、夭折したのは長女であるのに対し、その人形は男の子です。志賀は長女の亡き後、長男もやはり幼くして亡くしており、この人形はその時に購入したものとも考えられ、こうした「アナザーストーリー」も考えられる資料です。

このほか、多岐にわたる資料が展示されており、志賀直哉とその周辺人物との関係性がうかがえます。本展示は7月9日(日)まで。まだ行かれていない方も、もうすでに見たという方も、志賀直哉と彼を取巻く人々を思いながら展示をご覧になってはいかがでしょうか。

5/11は研修旅行です

5月11日は研修旅行(銚子)です。ご参加される方に置かれましては、詳細な行程等を別にご案内しておりますので、ご確認ください。

事務局より

5月8日以降、新型コロナの5類引下げに伴い、ガイドの皆様におかれましては、敷地内(建物内含む)でのマスクの着用は原則不要となります。

5月8日以降は、皆様の体調等の状況を鑑みて着用についてご判断くださいますようお願いいたします。

次回の月例会は5月9日(火)午前9時30分から行います。旧村川別荘新館で実施しますので、お間違えの無いようお気をつけてお越しください。